

北海道に存在していたことを伝えられる、とても貴重な活動だと思えます。

**辻井** 「留萌のニシン街道」として選定された地域でも、地元の方が自分たちの経験を観光客に語る機会をつくっています。かつてその地域がニシンで栄えたことを知らない世代にとって「生の声」が聞けることは大変有意義ですし、何より臨場感がある。そうした方たちがイキイキと話す姿を見ると、私たちもうれしくなりますよ。「旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群」も廃線になって忘れ去られていたアーチ橋の良さを見直そうと、NPOひがし大雪アーチ橋友の会のメンバーたちが、役場や開発建設部と共に散策路やビュースポットの看板整備、イベントの企画を立てるなど、PRにとどまらない行動力が素晴らしいと思います。どの例も共通しますが、世代を越えて交流し、また立場や分野を越えて協力し合う点が、地域活性化の鍵になっているのかもしれない。

### 遺産を、資産に ビジネスの視点から見る 北海道遺産とは

**池田** 北海道遺産の動きに伴い、

テレビ番組やロゴを配したグッズが出たり、遺産を巡るツアーなどが登場するなど、民間企業も動き出しています。辻井会長は、こうした活動をどうお考えですか。

**辻井** 北海道遺産を巡るツアーはいち早く始まりましたね。最近では短い時間や日数で旅することよりも、ゆつくりとその土地を楽しむ旅行が主流になっていますから「遺産ツアー」は非常にマッチしています。単に景色が雄大、食べ物新鮮という北海道旅行に、深みを与えると思うんです。また、酒のラベルにロゴが配されていたり、切手やはがきに遺産の絵柄が採用されるなど、土産や郵便物になれば全国に北海道遺産をアピールできるわけですから、その効果は非常に大きなものです。

**高橋** 私もアイヌ文様入りの名刺を持ち歩いていますし、ミニ道債のお札の裏面に遺産の絵柄を入れるなど、私たちもさまざまな機会をとらえて、北海道の宝物をアピールしています。企業にとっても北海道遺産はビジネスチャンスと考えていただければと思います。

**辻井** そうですね。遺産という言葉を使っていますが、未来につながる「資産」と考え、価値を高めている

ただけるとうれいすね。

**池田** 選定をされた52件以外にも素晴らしい宝物があるような気がしますが…。

**辻井** 確かに52件でひと区切りをつけましたが、それは苦渋の選択で、決して終わりではないんです。森さんの発言にもありましたように、今後は「わがまちの遺産」探しへとステップを進めてほしいと思っています。それを私は「ムラの遺産」と呼ぶのですが、もつと「遊び心」を持った地域オリジナルの取り組みとして一層の展開を期待しているんです。

**森** 私たちもそうでした。「えべつやきもの市」は当初、近隣の商店の方たちが定休日も店を開けることに戸惑っていたのですが、魅力的な催し物になるよう工夫することで来場者が増えれば、自然と出店数も増える。すると近隣住民や飲食店などほかの業種にも協力体制が広がっていききました。一つの遺産を見出すことは地域の一体化を生み、まちの自信にもつながったと思います。

### 子どもたちに贈りたい、 未来を創造する宝と力

**高橋** 確かに北海道は今、自信を

取り戻すことが大切です。豊かな自然も、おいしくて安全な食材も、ITやバイオといった技術も、チャレンジ精神もある。05(平成17)年

度は「観光と食」を柱に、世界を視野に入れた北海道ブランドを創りあげたいと考えていますが、北海道遺産はそのベースとなる財産であり、北海道が持っている潜在力を引き出す良いきっかけになったと思います。先の事例のように、NPO法人や民間団体・企業などのそれぞれの創意工夫で北海道遺産は、個性的かつダイナミックな展開へ進む転換期ではないでしょうか。今こそ、一丸となってPRと定着を目指したいですね。

**森** 私の立場から言えば遺産というステータジを用意してもらったという感じですね。その舞台を各人がどう盛り上げるのか、江別では今「ハルユタカ」という栽培の難しい小麦を特産品にしようと、生産者と消費者が向き合い、高品質かつ新しい広がりを見せた商品開発に取り組んでいます。そうした地域の宝物を自信を持って発信する動きがどんどん強まっていることを感じます。

**辻井** 遺産構想も次の段階に入ったんだと思います。「元気の種」

はすぐ足元にある、それに気付いてほしい。

**高橋** 例えば「昭和新山国際雪合戦大会」が良い例だと思います。長い間、当たり前だと思われてきた北国の子どもたちの遊びを、国際的なイベントとして育てあげ、まちの活力にしているのですから。つまり北海道遺産は見る、眺めるものではなく、触れて、楽しんで、味わうものだと思います。活力の種となる遺産を価値として磨き、次の世代にきちんと伝えていきたいですね。子どもたちには総合学習の一環に取り入れるなどして、もつと北海道遺産に触れてほしいと思います。歴史や生活背景など、北海道の豊かなストーリーが込められた北海道遺産は、子どもたちにとって北海道を誇りに思える物語だと思えます。それをしっかりと伝えるのが私たち大人の責務。そうすることで北海道遺産が本来目指していた、未来への贈り物になるのだと思います。